

滋賀県若年認知症 企業研修のご案内



若年認知症の人と家族を企業が支える

平成25年度から29年度で39企業に実施し、
1380名が受講しました。

認知症の定義

いったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために社会生活に支障をきたすようになった状態

認知症の診断

問診
生活状況の把握
神経心理学検査
血液検査等

認知症の原因疾患の診断

CTまたはMRI
脳梗塞、脳腫瘍、正常圧水頭症などの治療可能な疾患との鑑別診断

認知症と区別すべき病態

意識障害・せん妄、加齢による認知機能の低下、うつ状態による仮性認知症、精神遅滞ほか

仕事の優先順位や仕事の手順などは、1項目
1つだけのことを見逃すことが増えてきます。そんな状態は、
半信半疑にでもできるように意識かけが重要なので、落ちついて仕事
をします。

2 書類などは、行違やカラーコピーファイルなどでまとめること
がおすすめです。見えやすく、意識して使うことが大切です。

よく行く店では覚えていなくても、地図や住所の読み方を活用するよう
にアドバイスがあると、落ちついて仕事ができます。

